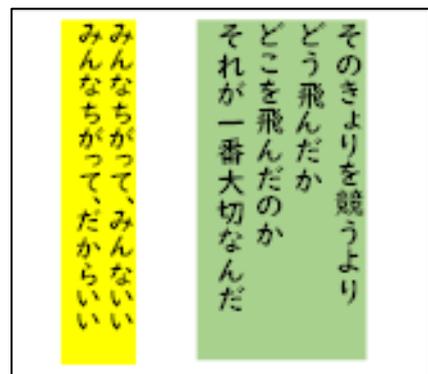
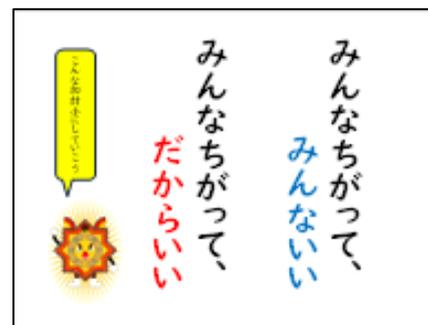


今日で2学期が終わります。加計小学校の目標に向かって、皆さんと先生方と一緒にがんばった2学期でしたね。2学期の始業式で私が話したことを思い出してみてください。授業や生活の中で、考えたいことがあるときに、一人一人が意見を出し合って考えることができるといいですね、という話でした。そのときに大切なことは「わかったふりをしない」ということ。「なんで?」「よくわからないからもう一度言って」と言えること、それぞれの違う意見を聞けることができるといいという話をしました。



あわせて金子みずぶさんの「私と、小鳥と、すずと」の詩を紹介しました。詩の最後の一節に「みんなちがってだからいい」と付け加え、そんな加計小にしていこうと話しました。

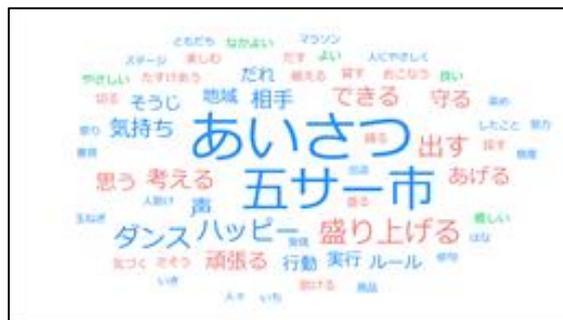
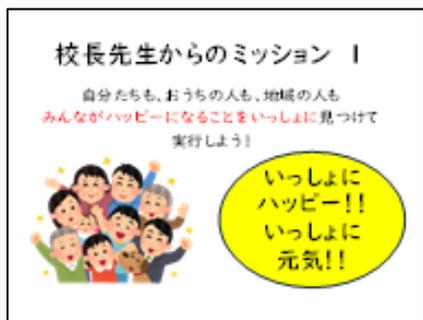


さて、2学期の音楽朝会で歌った「365日の紙飛行機」—みんな大好きでしたね。その歌詞の中に私の好きな歌詞があります。この歌詞の意味を考えてみましょう。

(5年生が手をあげてくれる)「人生の長さというのではなく、どんな風に生きたかとかがんばったかということが大事だという意味だと思います」(拍手)

(先生にも一人聞いてみる)ありがとうございました。この意味も一人一人

捉え方は違いますね。2学期はどうだったでしょうか。みんながどんな風に「とんだ」のか振り返ってみたいと思います。みなさんが答えてくれたアンケート結果に基づいて、2学期の加計小を振り返ります。私からの3つのミッションについてです。



ミッション1についてはこうなりました。あいさつや五サー市の取組、そうじや友達との関係など、誰かをハッピーにするために多くのことをがんばったことがわかりますね。

またスポーツや学習の場面で一生懸命がんばる姿がまわりの大人をハッピーにしてくれました。

